

MCN REPORT

認定看護師教育課程

「認知症看護」を開講しました

Vol. 32
2017.8



認定看護師教育課程(6月~)



夢緑祭(5月)



オープンキャンパス(7月)

主な内容

後援会から	1
連携協力協定病院紹介(一志病院)	2
キャンパスカレンダー・大学の出来事	3・4
認定看護師教育課程「認知症看護」の開講	5
菱沼典子学長インタビュー	6
さらなる発展と人材育成の充実に向けて	裏表紙



後援会から

後援会長 就任のごあいさつ

『学生の学ぶ環境を整える事』で貢献したい

三重県立看護大学後援会会長

おくむら やすゆき
奥村 康之



本年度、三重県立看護大学後援会会長に就任致しました奥村 康之と申します。
 昨年まで2年間理事を担当させていただきましたが、本年度は佐野会長の後を受け、より責任ある立場で後援会活動に携わることとなりました。
 さて、本学は今年度開学20周年を迎え、この間多くの皆様方のご協力を得て、多くの優秀な人材を輩出し地域になくてはならない存在となりました。後援会としてもこの良き伝統を、他の役員・教職員と協力し『学生の学ぶ環境を整える事』で微力ながら貢献したいと考えます。
 本年度も引き続き、後援会活動に対し会員皆様方のご理解・ご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

後援会の主な事業内容

- クラブ、サークル活動への助成
- 大学祭（夢緑祭）への助成
- ボランティア活動への助成
- 帰宅バスの運行委託（午後9時台）
- 交通不便地等における実習時のタクシー代助成
- 卒業アルバムの制作
- 謝恩会への助成
- 同窓会への助成
- 修学支援基金への助成

帰宅バスの運行



卒業アルバム

平成29年度 後援会役員一覧

役	職	氏 名
会	長	奥 村 康 之
副	会 長	佐 野 稔
		川 村 元 秀
理	事	南 部 正 臣
		酒 井 由 美
		酒 井 立 子
		田 中 好 昭
		森 本 修
		上 村 雅 美
		小 宮 千 歳
		袖 野 寛 子
監	事	相 澤 由 美
		大 田 智 佳 子
顧	問	菱 沼 典 子 (学 長)
		三 井 清 輝 (事務局長)
事 務 局 長	出 谷 元 一 (事務局副局長)	
事 務 局		辻 健 一 (教務学生課長)
		梶 智 恵

連携協力協定病院紹介

連携協力協定病院（一志病院）

看護部のビジョン

「プライマリケア・エキスパートナーズとなり、
住民から頼られる看護師になる」

当院は、津市南西部の白山町と美杉町を主な診療圏とする入院施設を持つ唯一の病院として、人口1万6千人の方々に「家庭医療」を提供しており、「**全国の医療過疎を解決する病院モデルになること**」が病院の目標です。

看護部では、この目標達成のための推進力が看護部にあると考え「プライマリケア[※]・エキスパートナーズとなり、住民から頼られる看護師になる」ことを新たに看護部のビジョンに掲げました。

これまでキャリアラダーを取り入れ、専門職としてキャリアアップができるよう教育・サポート体制の強化を図ってきましたが、新しい看護ビジョンのもと地域の住民から頼られる存在となるにはニーズの強い在宅医療に対応できる看護師を育成する必要があると考え、取り組みを始めました。

ジェネラリストのスキルを備え、地域の保健、福祉など多職種と連携しリーダーシップを取ることができるよう、地域で必要とされる看護師になるための新しい人材育成システムを構築し、育成していきたいと思えます。

（看護部長 澁谷 咲子）



お花見昼食会の様子

※**プライマリケア**：身近にあってふだんから何でも相談にのってくれる総合的な医療

病院情報

三重県立一志病院 [昭和23年11月開設]

- ❖ 病床数：86床（一般病棟46床、療養病床40床） ※療養病床は現在休床しています
- ❖ 診療科目：内科、外科、眼科
- ❖ 職員数：77人（うち看護師36人）（平成29年4月1日現在）

連携協力協定病院一覧

県内9病院

- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院
- 三重県立一志病院
- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院

（平成29年8月現在）

キャンパスカレンダー

平成29年度 キャンパスカレンダー

4月

4日(火) 入学式
7日(金) 前期授業開始

5月

8日(月) 開学記念日
9日(火) 開学20周年記念行事
11日(木) ようこそ先輩・就職説明会
13日(土) 夢緑祭
15日(月)～6月2日(金) 看護総合実習(4年生)

6月

2日(金) 認定看護師教育課程「認知症看護」
入学式
5日(月)～17日(土) マヒドン・グラスゴー
大学生本学短期研修
12日(月)～8月4日(金) 助産学実習
(4年生/自由科目)

7月

5日(水) ゆびた祭り
29日(土) オープンキャンパス
28日(金)～8月11日(金) 前期定期試験期間

8月

4日(金)～17日(木) 追試験・再試験期間



国際看護実習Ⅱ(9月～10月)



卒業研究発表会(12月)



入学式(4月)



開学20周年記念行事(5月)

9月

9日(土) 教育懇談会
19日(火) 看護管理者会議
11日(月)～10月6日(金) 基礎看護学実習Ⅱ
(2年生)
25日(月)～1月19日(金) 領域別看護学実習
(3年生)
24日(日)～10月8日(日) 国際看護実習Ⅱ
(4年生/自由科目)

10月

10日(火) 後期授業開始

12月

27日(水) 卒業研究発表会

1月

22日(月)～3月2日(金) 公衆衛生看護学実習
(3年生)
30日(火)～2月14日(水) 後期定期試験期間

2月

13日(火)～21日(水) 追試験・再試験期間
23日(金) 認定看護師教育課程「認知症看護」
修了式

3月

5日(月)～16日(金) 助産論Ⅰ開講期間
12日(月)～24日(土) 国際看護実習Ⅰ
(3年生/自由科目)
17日(土) 卒業式・修了式



卒業式・修了式(3月)



※日程は予定を含んでおり、変更となる場合があります。

大学の出来事

第20回 夢緑祭

5月13日(土)に第20回「夢緑祭」を開催しました。

事前の夢緑祭実行委員会を中心とした企画立案や入念な準備のもと、当日は多くの模擬店や、子どもたちであふれかえった学生ホールでのゲーム、そして、夢緑祭を最大に盛りあげたステージなどにより、今年度の三重県立看護大学の学園祭を、好評のうちに実施することができました。



海外短期研修の受け入れ

タイ王国 マヒドン大学、英国スコットランド グラスゴー大学と締結している交換留学協定に基づき、6月5日から13日間、マヒドン大学から3名、グラスゴー大学から2名を研修生として受け入れました。

研修生5名は、本学での講義や県内8施設の見学により日本の看護や保健医療について学びました。

また、本学国際交流サークル主催の歓迎会や文化視察などを通じて、学生同士の親交も深まり、互いの文化を知る良い機会となりました。



ゆびた祭り

7月5日(水)に「ゆびた祭り」を開催しました。

地域の子どもたちやその保護者など多くの方々に来訪いただきました。

子ども向けイベントとして、ストラックアウト、ボーリング、フーセンヨーヨー釣り、輪投げ、折り紙・バルーンなどを行いました。また、唐揚げ、焼きそば、たこ焼き、焼き鳥、かき氷、ジュースなど、夏祭り屋台をイメージした食べ物の販売で、祭りの雰囲気を楽しんでいただきました。



オープンキャンパス

7月29日(土)に「みかんだいオープンキャンパス2017」を開催しました。

500名以上の方にご参加いただき、本学の教員が大学の授業を行う「講義体験」や本学学生と直接話しができる「学生相談会」、その他「入試問題の解説」や「看護体験」などが行われ、大盛況のうちに終了しました。

参加者アンケートでは、「大学生から親切丁寧に教えてもらい、この大学に入りたいと改めて思った。」「ますます看護の道に進みたくなった。」などの感想をいただきました。



認定看護師教育課程

県内初!

認定看護師教育課程

「認知症看護」を開講しました

地域交流センターは、特定の看護分野で質の高い看護を提供できる人材を育成するために、平成23年に認定看護師教育課程を開設しました。認定看護師は、日本看護協会が策定した資格で、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師を社会に送り出し、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的としています。



講義の様子

「年取れば誰でもなれる認知症!」と唱える先生もいるように、超高齢社会のいま、認知症患者は急増しており、その中で認知症看護は大きな課題となっています。認知症看護認定看護師の必要性を訴える声が、地域の医療施設から多く聞かれるようになりました。そこで、当教育課程では、今年度から新たに「認知症看護」分野を開講しました。

入学式が6月に行われ、認知症者とその家族に寄り添った看護を提供できる認定看護師を目指す30名が入学しました。研修生は、「勤務しながらの研修は大変だけど、気持ちの切り替えができて楽しい」「講義が週2日(金・土曜日)の分散型開講だから、講義で学んだことをすぐに実践に活かすことができる」と、現在は講義を中心に頑張っています。今後、さまざまな医療施設での実習を経て、2月の修了を目指すこととなります。



当教育課程の研修生には、専門的な知識と技術を活かし、看護職や他職種と協働し、医療施設のみならず、地域で活躍してほしいと思っています。

入学式(6月2日)

教員インタビュー

ひしぬま みち子

菱沼 典子 学長 インタビュー

「この大学ならではの特色を出していきたい」

Q1 三重県での勤務ははじめてとのことですが、いかがですか。

若いとき勤務した奈良県の病院での職場旅行で訪れた赤目四十八滝が三重に足を踏み入れた最初の機会です。なお、10数年前になりますが、学部長会議で前原元学長と頻繁にお会いしていた時期があるので、この大学を以前からよく知っていました。



— 大学周辺は田んぼも多くのようですが、大学周辺はどのような印象ですか。

長く勤務地は東京でしたが、住居は茨城県でしたので見慣れた地方の風景です。ただ、県庁所在地の駅なのに何も無いのは驚きました(笑)

Q2 ご専門は、これまでどのような研究・お仕事をされてこられましたか。

看護形態機能学、看護技術学、看護学概論などです。

とりわけ、「看護形態機能学」は、ある意味断片的になりがちな解剖生理学の知識を、看護の働き(人の体の動きなど)に着目してつなげて理解できるよう体系を整理したものです。

— 先生の著書「看護学への招待」では、看護学を学びはじめた学生はもちろん、卒業して働く看護師の方への応援になるヒントがあるように思います。

これまで、例えば、もう大学を辞めたいという学生を見てきました。その際、自分がなぜ看護師になりたかったのか、その動機を振り返ってみることが大切で、それが胸の内に残っているなら、続けるよう話してきました。振り返りに使ってもらえたら、うれしいです。

Q3 最後に、どのような大学にしていきたいとお考えですか。

この大学の強みとして、学生に対する面倒見のよさなどを感じています。

大学の強みはもちろん、三重県の抱える医療の課題などの現状を見据えながら、三重県の健康に対してこの大学は何ができるのかを問い、この大学ならではの特色を出していきたいと考えています。

菱沼 典子 プロフィール

1974年 聖路加看護大学卒業後、天理よろづ相談所病院に看護師として勤務。

1976年～2017年3月 聖路加国際大学に勤務。専門は看護形態機能学、看護技術学、基礎看護学。

1981年 筑波大学大学院医科学研究科修士課程修了。

2009年 日本赤十字看護大学より博士(看護学)。中央教育審議会委員等を歴任。



上記で紹介の菱沼先生の著書

看護学への招待(株式会社ライフサポート社刊)

定価 本体 2,000円(税別)

看護学を学び始める皆さんに、看護とは何か、看護学とは何かを考えるヒントを提示したのが、この本です。既に働いている看護職の皆さんにも、看護って何、とふり返る時に、参考にしていただけると幸いです。「はじめに」より

さらなる発展と人材育成の充実に向けて

～学生の修学支援のための基金の設置と寄附のお願い～

今日、少子化による18歳人口の減少、学生の思考の多様化、厳しさを増す国・地方の財政状況など、大学を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中におきましても、本学は、三重県の健康レベルの向上に寄与することが求められており、グローバル社会の中で看護学の発展と保健・医療・福祉の向上に寄与できる質の高い人材の育成が本学の使命です。この使命を継続して果たすために、開学20周年を契機に広く寄附金を募り、学生の修学支援に活用したいと考えています。

つきましては、本学の発展と人材育成のさらなる充実を図るため何卒格別の御協力と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

詳細は、添付いたしましたご案内等をご覧ください。

お問い合わせ先 事務局企画総務課 TEL 059-233-5600



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



広告



財) 日本医療機能評価機能認定病院
地域医療支援病院
社会医療法人畿内会



岡波総合病院

okanami general hospital



急性期から施設・在宅まで

さまざまな場面で看護に取り組んでいます。



〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町1734番地 TEL:0595-21-3135(代)